

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

53号
2021
6.4

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



行事予定と今週ぜひ観ていただきたい植物の情報をお届けします！

※休園日は、年末年始(12/28~1/4)だけです。

※ 京都府立植物園公式ツイッターアカウント始めました！見頃の植物情報を中心につぶやいています。



第28回 ウチョウラン展 **中止!!**

○期間：6月11日(金)～6月13日(日)
○場所：植物園会館1階展示室
○内容：ウチョウラン約200鉢を展示(販売あり)

◆6/13(日)ウチョウラン展 関連講習会

植物園会館2階研修室 13:30～15:00(受付13:00～)
「ウチョウランの育て方」※定員：先着30名
講師：京都羽蝶蘭会会員

バラ栽培講習会

06月12日(土) 13:00～15:00(受付12:30～)
「バラのシュート処理」植物園会館2階研修室
※講師：日本バラ会京都部会会員
※参加費：200円(別途入園料が必要)
※定員：先着30名

初夏のものづくりガーデン&ミュージックガーデン

○日時：6月20日(日) 9:00～16:00 **中止!!**
○場所：エコ路地、北山門広場周辺
○内容：*アクセサリー、お菓子、工芸品など手作りの品
店舗が大集合
*ミニコンサートも同時開催

第47回 サボテン展

○期間：6月25日(金)～6月27日(日)
○場所：植物園会館1階展示室 *テーマ「白いサボテン」
○内容：サボテン、多肉植物約300鉢を展示(販売あり)

◆6/27(日)サボテン展 関連講習会

植物園会館2階研修室 13:30～15:00(受付13:00～)
「シャボテンの栽培法」
講師：竹内宏光氏(京都シャボテンクラブ会長)

「水曜ミニガイド」 植物園認定が 仆がご案内!

※当面の間 水曜ミニガイドは中止させていただきます。

「園長と園内散歩」 **中止!!**

6月20日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!

植物園会館前集合：午後2時スタート!

スマホdeガイド



QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! ‘おすすめ樹木めぐり’ ‘おすすめエリアガイド’などをスマホで確認し、植物観察!

第19回 富貴蘭展

○期間：7月2日(金)～7月4日(日)
○場所：植物園会館1階展示室
○内容：富貴蘭約200点を展示(販売あり)

◆7/4(日)富貴蘭展 関連講習会

植物園会館2階多目的室 13:30～15:00(受付13:00～)
「富貴蘭の育て方(仮)」
講師：趣味の富貴蘭会京都会員

アートボトル講習会(4) 募集中!!

7/8(木) 経験者の部 10:00～12:00
初心者の部 13:30～15:30

★山野草アートボトル同好会が作り方を指導 ★定員：各10名
★参加費：3,000円(別途、入園料が必要)
★事前申込：往復ハガキに講習会名、受講希望の回・部、住所、氏名、電話番号を明記 ★受付：7/6(火)★会場：植物園会館2階研修室

夏の早朝開園

07月9日(金)～7月11日(日)
07月22日(木祝)～8月15日(日)
～7:30から開園します～
○朝顔展(7/30～8/3)開催中は
～7:00から開園します～
★涼しい早朝の植物園をお楽しみ下さい!!

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合：午後1時スタート! **当面中止!!**

「植物園ガイド」が植物案内!

～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!～

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)

* 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141 **当面中止!!**

植物園芸相談

■ 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時
■ 電話075-701-0141

※年間パスポート好評発売中

・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
大人1000円 高校生750円
・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



⑫ フウリンブツソウゲ

アオイ科。タンザニアのザンジバル島原産。不思議な花形のハイビスカスである。種小名のschizopetalusは「切れ込みがある」の意味で、花弁の姿に由来する。通常、ハイビスカスは一日花だが、本種は何日か開花している。

⑪ オオバウマノズクサ

ウマノズクサ科。関東地方以西の太平洋岸暖地に自生。近縁種のウマノズクサが無毛であるのに対し、本種は若い茎葉に軟毛がある。名前は中国名に由来し、果実が馬に付ける鈴の形に似ることになむ。

⑩ ハクギンリュウ

キク科。南アフリカ原産。漢字では「白銀竜」と書き、樹の姿や葉の色合いから名付けられたと推測される。乾燥に耐えるため、茎や葉が肥厚している。白色の毛または冠毛を持つことから属名のSenecioはラテン語の「老人」に由来する。

⑨ フクロナデシコ

ナデシコ科。原種は地中海沿岸に分布。開花後にガクが袋状に次第に大きくなって下垂することから和名が付けられた。花の色や形がサクラに似ているところから「サクラマンテマ」と呼ばれることもある。白い花を咲かせる品種もある。

① アジサイ

アジサイ科。原種は日本に自生するガクアジサイ。花弁のように見えるのは萼片(がくへん)で青系から紫、赤まで多様な色の品種がある。花色は土壌のpH値などに大きく左右され、アルカリでは赤色に、酸性では青色になる傾向がある。

② ジギタリス

オオバコ科。原種は地中海沿岸を中心に中央アジアから北アフリカ、ヨーロッパに分布する。花の形が指サックに似ていることから、ラテン語で「指」を表すdigitusが名前の由来。花の色は紫を中心に、白、ピンク、イエローなどがある。

③ バイカモ

キンポウゲ科。直径1.5cmほどのウメに似た花を咲かせ水中に生えることから「梅花藻」と名が付いた。北海道から本州にかけて分布。南限である近畿地方では、現在、滋賀県と兵庫県で自生が確認されているが、京都府では既に絶滅。

④ クロタネソウ

キンポウゲ科。原種は南ヨーロッパ地中海沿岸から西アジアに自生。属名の「ニゲラ」としても知られる。ラテン語で「黒い」を意味するNigerが語源となっている。和名のとおり、花後に結実して黒い種子ができる。

⑤ ガウラ

アカバナ科。北アメリカ原産。和名は淡桃色の花から山桃草(ヤマモモソウ)。花の形や色に由来し、白蝶草(ハクチョウソウ)との別名もある。ガウラはギリシア語の「堂々たる」、「華麗な」を意味するgaurosに由来し、美しい花になむ。

⑥ タイサンボク

モクレン科。北米原産。アメリカを代表する花木の一つで、米国では50種類以上の園芸品種が作出されている。甘く強い芳香があり、香り成分から香水も作られる。雄しべ雌しべが太く集まっていることが特徴で進化初期の形質を示す。

⑧ ハナショウブ

アヤメ科。日本や朝鮮半島、中国東北部、シベリア東部に分布。江戸時代に東北地方に自生している野生種の変異株をもとに選抜・改良がなされた。「江戸系」「肥後系」「伊勢系」など、育成地ごとに草姿・花型に特徴がある。

⑦ セレージャ(果実)

フトモモ科。ブラジル原産。濃赤紫色の小さな果実は甘いサクランボのような味がする。花は白色。果実は開花後3週間で熟す。生食の他、ゼリーやジャムなどにも利用。本個体は令和2年4月に京都北山マールブランシュから寄贈された。

